



ウィークリー Weekly Report レポート



国際ロータリークラブRI会長テーマ **ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を**
RI会長 ロンD・パートン

2014.5.29 No.2706

真岡ロータリークラブ会長テーマ **和の心で 活力あるロータリーを**
会長 広瀬 紀夫



国際ロータリー第2550地区
真岡ロータリークラブ

- 司会 金子 正男君
- 点鐘 会長 広瀬 紀夫君
- ロータリーソング 四つのテスト
- ゲスト 真岡商工会議所青年部会長 石坂 茂紀様
- 〃 運営専務 近藤 章弘様
- ビジター 真岡西ロータリークラブ会長 林 純一様
- 〃 30周年委員長 柳澤 最伸様
- 〃 副幹事 大越 善彦様
- 会長挨拶 会長 広瀬 紀夫君

こんにちは、お客様の紹介を致します。真岡西RC会長 林純一様、30周年実行委員長 柳澤最伸様、副幹事 大越善彦様、真岡商工会議所青年部会長 石坂茂紀様、運営専務 近藤章弘様、例会にお越し頂きありがとうございます。



5月25日の真岡西RC30周年記念式典に多くの会員の出席を頂きまして、ありがとうございました。乙武さん、すごい人気ですね。会場はたくさんの方であふれていました。お話の内容は、障害者に対する見方を話していました。「偏見というよりも慣れてないのでは」ということです。私の娘が小さい頃、妻の実家によく遊びに来ていた同じくらいの年頃のいとこがいました。その子の近所に知的障害のある子がいました。車が好きで、義弟が車を庭先に出すと、車に触りながら長い時間遊んでおりました。初めてその子を見た私は、大変申し訳ない態度をとってしまった。正直、接し方が分からなかったのです。娘達は慣れていたのか、ごく自然と一緒に遊んでおりました。小さな娘に教えられたと感じました。乙武さんの話を聞きながら、そんな昔の事を思い出しました。

- 幹事報告 幹事 柳 浩雄君
- ・6月10日(火)の真岡西RCの例会は振替休会となります。(6月7日 親睦旅行の為)
- ・真岡西RC30周年記念品をクラブ室の会員ポストに入れておきますので、受取りを宜しく御願います。
- ・年会費における会則の承認を頂き、ありがとうございます。

- 委員会報告 親睦委員会委員長 見目 良一君
- ・親睦家族旅行の集金を次回の例会(6月5日)までとさせていただきます。

■真岡西ロータリークラブ30周年記念の御礼の挨拶

◆真岡西ロータリークラブ会長 林 純一様
皆様こんにちは。私共真岡西RCの30周年記念に、多くの方々に御越し頂き本当にありがとうございました。私達は、この事業の為に会員一丸となって準備をして来ましたが、やはり親クラブであります真岡RCの皆様や、益子RC、下野RCと多くの協力が



なければ、事業を成功させることはできなかったと思います。皆様に心より感謝申し上げます。これからも4クラブの絆を大切にしていきたいと思っております。どうぞ、これからも宜しく御願ひ致します。

◆真岡西ロータリークラブ30周年実行委員長 柳澤 最伸様
まず、真岡RCの皆様におかれましては、30周年記念において多大なるご協力を頂きました事を御礼申し上げます。ありがとうございます。私も実行委員長として頑張ったつもりですが、至らない所が多々あったと思います。これからの事業では、至らない部分を反省し、改善していきたいと思っております。真岡RC様の御発展を御祈念申し上げます。

■外部卓話 真岡商工会議所青年部会長 石坂 茂紀君
▶ 題目「真岡商工会議所青年部の活動について」

皆様こんにちは、ただいまご紹介いただきました真岡商工会議所青年部第26代会長を仰せつかっております石坂茂紀と申します。先ずもって本日は、真岡RC広瀬会長をはじめといたしますメンバーの皆様、大変貴重なお時間を卓話ということでお声をかけていただき、このような試練の場を与えていただき誠にありがとうございます。そしてまた商工会議所青年部の立場で呼ばせて頂ければ前会頭の篠原泉様、そして篠原、岡本両副会頭におかれましては日頃より青年部活動に対して、ご理解をいただき、そしてまた、力強いご支援をいただき誠にありがとうございます。そしてまた同じく久保賢司君には我々青年部の副会長として、いつも目配り、気配り、気使いをしていただき本当に私の大切な支えとなっております。普段はなかなかお礼が言えず、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。実は真岡RC様の卓話には13年前に1度参加をさせていただきました。JCの山中みゆき理事長の卓話のお付ということで何もしないのにただただ緊張していた自分が記憶にございます。本日は古き歴史、伝統のある真岡RC様のメンバーの皆様の前で、そしてまた、いろいろな場面で多方面でお世話になっております大先輩の前で、大変なプレッシャー、緊張の中ではありますが、青年部活動に関するお話をさせていただきます。ご清聴よろしく御願ひを申し上げます。



私のことを分からない方が大半かと思っておりますので、まずは自己紹介をさせていただきます。私は、昭和46年生まれの43歳でございます。地元でがんばっている同級生もけっこうおられて、皆様がご存知かなと思われるメンバーを言いますと、篠原前会頭の古長男の直哉君、スリーテックさんの中川社長を支えている弟さんの晴雄君、陽光産業の笠原君、カネキの樋口君、田上商事の飯塚君、真岡市議会議員の久保田君、神田看板店の神田君、鳥羽工務店の鳥羽君、エコ物流の釜野井君、フォーシーズン静風の料理長の市村君他、居酒屋や料理屋さんを営んでいる同級生など、私から見たらみんな頑張っていて、負けられないなーと思える良きライバルでもあり、生涯付き合っていく最高の友人でもございます。申し遅れましたが、私の仕事の方は市役所南側にあります松屋旅館、そして別館のビジネスホテルエンドレスを営んでおります。創業は明治30年代、私で5代目と聞いております。おかげさまで何とか創業以来、約120年商いをさせていただいております。そして何よりも当社の年初めの大事な仕事が真岡RC様の継続事業でもございます「ロータリー杯」でございまして、元気なサッカー少年たちをお世話させていただき、我々も子ども達から元気をいただいてスタッフ全員が本年もがんばっ

MU会場案内

月曜日 Monday 宇都宮90▶東武ホテルグランデ 小山中央▶思水荘	火曜日 Tuesday 真岡西▶グランドホテル静風 宇都宮東▶ホテルニューイタヤ	水曜日 Wednesday 益子▶益子カントリー しもつけ▶石橋商工会館	木曜日 Thursday 宇都宮西▶東武ホテルグランデ 宇都宮北▶宇都宮グランドホテル	金曜日 Friday 小山東▶ウイラテマリアージュ小山
---	--	--	---	--------------------------------

会長 広瀬 紀夫 幹事 柳 浩雄 会報委員 田村 浩次、小林 勇一郎、久保 賢司、淡路 晃

事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(真岡商工会館内)
TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510 e-mail : rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

ていこうという思いにさせていただき毎年、毎年、当社の新年のスタートとさせていただきます。それでは青年部の活動について少しお話させていただきます。現在、110名の会員をもって活動をさせていただいております。毎月1、2回の例会、そしてまた各地のイベント参加、継続事業といったしましては、いつも皆様には大変お世話になっております「灯ろう流し」の運営をさせていただいております。110名のメンバー構成ではございますが、現実、活動できているメンバーは6割ぐらいいかと思っております。やはり活動したくても出来ないメンバーと話をさせていただきまして、「仕事が忙しくて参加できない」「会社がもう少し安定したら参加したい」というような声が多いのが現状でございます。会長として何とか参加できるメンバーが一人でも増えるよう、このことを大切な課題のひとつとして取組をしなければならぬ、どうしたら楽しく多くのメンバーが活動できるようになるのかなと日々自問自答しているところでございます。

商工会議所青年部という名のおり若手商売人の集まりでございます。ほとんどのメンバーが会社では、野球で言うならキャプテンで4番バッター、チームにとってなくてはならぬ大黒柱としてがんばっております。自分がぬけるとなかなか試合にならない、試合に勝てない、大半の企業が零細企業であり、家族経営で必死に試合に臨んでおります。そんな中でも時間を作って青年部活動に参加をし、会った時には仕事の話を中心に情報交換をしたり、メンバー同士でビジネスに関しても協力できるところは優先的に取り組んでおります。先程も述べましたが、「会社がもう少し余裕がでたら参加するよ」と言うメンバーの気持ちも分かりますし、誰かが理想を言うならばキャプテンではいるが、補欠にまわって自分がいなくても試合に勝てる、そんな暗渠楽行な体制を作ってからいろいろな活動に余裕をもって参加をしたい、しかしすぐに変えることはなかなか困難なことでございます。会員拡大運動を多し、私「メリット、あらゆる可能性のチャンスは活動する中でござるところ転がっております。素晴らしい出会いのチャンスもたくさんございます。しかしものにするかどうかは自分次第、会社と青年部活動と汗をかいて両立する中で後からビジネスチャンスは必ずついてくると確信しております」と回答をさせていただいております。若手の商売人が集まり、我々青年部の指針にもござりますように行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じて、とにかくこの我々の故郷真岡を元気にできるような団体を目指していきたい、真岡が元気になれば、活気ができれば必ず我々の会社も活気づくことを信じて、楽しみながらメンバーとともに景気回復なんかを待たずに今だからこそ行動していきたいと思っております。

最近ではアベノミクスという少し古く感じるこの言葉が出て以来、日差しが見えてきた、灯りが見えてきたと言われながらも、まだまだ我々末端までは日差しが来ない、本当にくるのかという懸念もある中で、生き残るためにみんな必死に商売をされていると思えます。私ごとで大変恐縮ではございますが、7、8年前に大手ビジネスホテルチェーン「ルートイン」が真岡に開業をされました。当社の売上は2割5分低下をいたし、設備、費用対効果とも小さな老舗の旅館では太刀打ち出来ず、このままのスタンスではお客様がすべて大手に持っていかれてしまうという青色吐息の毎日でございます。もう大手には出来ないことを徹底してやっていかなければ、当社ならではの心をこめたサービスをやっていこうということで、交通の便の悪さが立地上の弱みであったので、市内どこでも無料送迎をはじめさせていただきました。タクシー1台とお客様から言われれば、「もしよろしければお送迎いたします」と回答をするようスタッフ全員でころがけをいたしました。お客様の反応は少し驚いた感じで「えっ本当に？ 助かるな じゃ頼むよ」と少しだけ喜んでいただけです。何でもいから何か1つ喜んで帰ってもらおうとスタッフにも常に声をかけております。また春休み、夏休みの学校関係の合宿で利用されるお客様には練習試合をこちらで組んでプランとして提供するようにしたら「来年も頼むね」と帰り際に来年の予約をして帰っていただける団体様も増えてきました。そして、なによりも、ご宿泊していたお客様に対し、大手がやるダイレクトメールではなく心をこめて手書きの礼状を出させていただいております。しかしながら、追い打ちをかけるよう3年前の大震災により建物の改修などで、また銀行さんにはお世話になってしまい、一方では原発の懸念より観光客が減少し、今だ悪戦苦闘中ではございますが、何とか生き残れるよう努力、工夫をし「あきんど根性」を決して忘れることなく仕事に青年部に東奔西走して参りたいと思っております。

真岡商工会議所青年部も1984年12月に初代会長でございます樋口昂亮先輩のもと創立をいたし本年度は30周年を迎え活動させていただいております。創立された当初は、全ての事がゼロからのスタート、新たな挑戦の中、諸先輩方の努力により、加速度的に変化する時代の中においても、地域を支える青年経済

人としての気概をもって活動を続けていただき、今日の真岡YEGがあるものだと考えております。市制におかれましては60周年を迎えており、この節目の年をもってあらためて真岡YEGの歴史を振り返り、また一方では何か新しいものに積極的に挑みたいと強く思っております。特にわれわれの愛する故郷「真岡」をより元気にできるような事業はないか？真岡をもっと今以上に発信できないだろうか？このようなことを常に念頭に置きながら活動していきたいと思っております。周年ということで、真岡RC様、本日お越しいただいている真岡西RCの皆様にも、もしかしたらいろいろな部分でご協力依頼をさせていただくことがあるかもしれません。その際はどうかよろしくお願ひ申し上げます。

そしてまた、先輩から受け継がれている、我々にとって大切な継続事業である「灯ろう流し」も20回を数えます。皆様もご承知のとおり昭和20年8月6日、広島に原爆が投下されました。原爆は一瞬にして多くの命を奪いました。命は免れましたが、ひどいやけどを負った人も大勢いたそうです。その人々が熱さと痛みにも耐えきれず、川に飛び込みそのまま亡くなっていかれました。遺族や知人が供養のために手作りの灯ろうを流し始めたのが最初だそうです。真岡の灯ろう流しも、毎年約1万5000人の方々にお越しをいただき、ひとりひとり、家族全員の思いや願いが詰まった灯ろうを行屋川に放流されております。我々もそんな思いの詰まったこの事業を誇りに、そして大切に思い、万全の態勢で第20回真岡の灯ろう流しの運営にあたりたいと思っております。本年度は実行委員長に暮田紳一郎君そして実行委員長を支える担当副会長の久保賢司君のお二人にすべてをお任せしております。皆様方にも二人からお願ひにあらせていただくこともあるかと思っておりますが、どうぞよろしくあたにかいご対応をお願い申し上げます。

結びになりますが、30周年という節目の年を110名のメンバーとともに楽しく、真岡YEGらしい活動をしていきたいと思っております。平成26年度スローガン「時代に挑み 次代に繋げ」～30年目の絆と継承～のものいろいろなことにチャレンジをしながらしっかりと先輩方から受け継いだ絆を次世代へ繋げていけますよう努力していきたいと思っております。まとまりのない話になってしまいましたが、今後とも真岡商工会議所青年部に対しましてご指導をいただきますことをお願い申し上げます。そして広瀬会長をはじめいたします真岡RC様のますますのご発展、ご活躍を心よりご祈念いたし私の卓話とさせていただきます。本日はこのような大変貴重な経験をさせていただき、また、最後までご清聴いただき誠にありがとうございました。

■スマイルボックス 豊田 光弘君

真岡西ロータリークラブ 会長 林 純一様、30周年実行委員長 柳澤 最伸様、副幹事 大越 善彦様
過日の真岡西RC30周年事業におきましては、内外に渡り多大なるご支援を頂きまして、まことにありがとうございました。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。

広瀬 紀夫君 真岡西RC 林会長さん、実行委員長柳澤さん、大越さん、おつかれ様でした。商工会議所青年部会長石坂さん、運営専務近藤さん、ようこそ。卓話願ひします。

柳 浩雄君 真岡青年会議所 青年部 会長 石坂茂紀様、本日は御多用の中、卓話を頂きありがとうございます。真岡西RC会長 林純一様、30周年実行委員長 柳澤最伸様、記念式典では大変お世話になりました。大越様 ようこそ。

海老原 均君、杉村 久夫君、篠原 泉君、岡本 俊夫君、福原 一郎君、竹石 峰夫君、辻 達男君、田村 浩次君、久保 康夫君、市村 忠男君、三澤 幸光君、伊藤 俊之君、大越 正和君、小林勇一郎君、豊田 光弘君、

◎真岡西RC 会長 林純一様、30周年実行委員長 柳澤最伸様、副幹事 大越善彦様、ようこそお越し下さいました。創立30周年おめでとうございます。記念事業お疲れ様でした。
◎真岡商工会議所青年部 会長 石坂茂紀様、運営専務 近藤章弘様、ようこそお越し下さいました。卓話宜しくお願ひします。

本日のスマイルボックス

会員	46,000円
ビジター	5,000円
米	0円
その他	0円
本日合計	51,000円
累計	2,117,621円

平成26年6月の真岡ROTARY																													
①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	㉑	30
誕生日・結婚記念日祝							会長 幹事 総括 卓話															最終例会(夜間例会)							
							特別休会																						

本日のプログラム

6/ 5(木) 月初会
誕生日・結婚記念日祝

【例会の出席はロータリアンに課せられた最低の責任】

在籍 51名		出席免除 3名(資格者 2名、有理由者 1名)				
例会日	出席義務	事後MU	出席	欠席	出席率	月間出席率
補正後 5月22日	47	0	41	6	87.2%	
本日 5月29日	48	—	41	7	85.4%	

次回のプログラム

6/ 12(木) 会長・幹事 総括 卓話

※例会欠席はAM11:00までに必ず TEL.0285(84)2511 FAX.0285(84)2510 にて事務局までお知らせ下さい。